



参天製薬株式会社

2008年度 決算説明会

2008年度 連結業績概要
2009年度 連結業績予想

2009年5月13日

代表取締役社長兼CEO

黒川 明



2008年度 連結業績概要

2008年度 決算概況

(単位：億円)

	2007年度 実績	2008年度 実績	対前年 同期 増減率	2008年度 業績予想*	対予想 増減率
売上高	1,033.9	1,016.1	▲1.7%	1,040.0	▲2.3%
営業利益	203.7	154.9	▲23.9%	151.0	2.6%
経常利益	207.0	159.3	▲23.0%	156.0	2.1%
当期純利益	126.5	101.2	▲20.0%	98.0	3.3%

*2008年6月2日、DE-109(シロリムス)導入契約締結に伴う一時金の支払発生により、研究開発費が期初業績予想比で54億円増加。同年6月10日、業績見直し修正。

2008年度実績のポイント

売上高

- 国内：角膜疾患、緑内障において伸長。前期比で僅かに拡大
 - 角膜疾患：堅調に推移
 - 緑内障：新製品タプロス発売
- 海外：為替の影響が大きく、前期比で減収

営業利益

- 研究開発費：シロリムス(DE-109)導入による一時的な増加
- 販売費：広告・販促費用の効果的な投入により節減

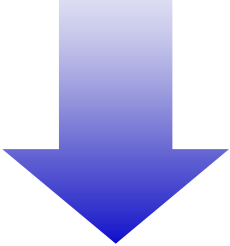


2008年度

売上高の増減要因(対前年同期比較)

2007年度
実績売上高
1,033.9億円

▲17.8億円



2008年度
実績売上高
1,016.1億円

国内 + 0.6億円

[増収要因]

- + 医療用眼科薬 + 0.4億円
- + 抗リウマチ + 1.2億円
- + 医療機器 + 2.2億円

[減収要因]

- + 一般用医薬品 ▲ 2.2億円
- + その他 ▲ 1.4億円

海外 ▲ 18.3億円

[減収要因]

- + 欧州 ▲ 2.2億円
(うち為替 ▲ 8.6億円)
- + 北米 ▲ 10.2億円
(うち為替 ▲ 1.0億円)
- + アジア ▲ 5.8億円
(うち中国 ▲ 5.1億円
うち為替 ▲ 1.7億円)
- (うち韓国 ▲ 0.4億円
うち為替 ▲ 2.0億円)

国内医療用眼科薬

- + 抗菌 ▲ 8.0億円
- + 角膜 + 7.2億円
- + 緑内障 + 1.4億円
うちタロメ + 10.6億円
- + パピロキニ + 2.3億円

欧州

- + 医療用眼科薬 ▲ 1.4億円
(うちドイツ + 2.1億円
うち東欧 + 1.1億円
うち北欧 ▲ 2.1億円
うちロシア ▲ 2.2億円)
- + 受託製造 他 ▲ 0.9億円

<為替レート>	2007年度実績	2008年度実績
US\$	114.29円	100.81円
Euro	161.98円	146.71円

2008年度
売上高の増減要因 (対業績予想比較)

**2008年度
 予想売上高
 1,040.0億円**

▲23.9億円

**2008年度
 実績売上高
 1,016.1億円**

国内 ▲ 11.0億円

[減収要因]

- + 医療用眼科薬 ▲ 1.8億円
- + 抗リウマチ ▲ 1.7億円
- + 一般用医薬品 ▲ 3.9億円
- + 医療機器 ▲ 4.9億円

海外 ▲ 12.8億円

[減収要因]

- + 欧州 ▲ 6.9億円
 (うち為替 ▲ 4.7億円)
- + 北米 ▲ 0.8億円
 (うち為替 ▲ 0.5億円)
- + アジア ▲ 4.8億円
 (うち中国 ▲ 4.3億円)
 (うち為替 ▲ 0.5億円)
- (うち韓国 ▲ 0.3億円)
 (うち為替 ▲ 1.4億円)

国内医療用眼科薬

- + 抗菌 + 8.2億円
- + 角膜 ▲ 3.2億円
- + 緑内障 + 1.9億円
 (うちタロメ + 4.1億円)
- + アルギン + 6.1億円
- + パピロックミ ▲ 15.5億円

欧州

- + 医療用眼科薬 ▲ 7.4億円
 (うちドイツ + 0.4億円)
 (うち西欧 ▲ 1.5億円)
 (うち北欧 ▲ 1.5億円)
 (うちロシア ▲ 2.0億円)
 (うち東欧 ▲ 2.9億円)
- + 受託製造 他 + 0.4億円

	2008年度期初予想	2008年度実績
US\$	108.00円	100.81円
Euro	155.00円	146.71円

*業績予想: 2009年2月5日付



損益計算書の要約差異(対前年同期比較)

(単位:億円)

<為替レート>

	2007年度	2008年度		主な増減要因
	実績	実績	増減	
売上高	1,033.9	1,016.1	▲ 17.8	(詳細は前述)
売上原価	365.1	359.4	▲ 5.7	
(対売上高比率)	35.3%	35.4%	0.1 pt	
販売費・一般管理費	465.1	501.7	36.6	
(対売上高比率)	45.0%	49.4%	4.4 pt	
研究開発費を除く販管費	335.7	317.2	▲ 18.5	販売費の減少 ・国内(▲8億円) ・欧州(▲3億円) ・米国(▲6億円) ・アジア(▲1億円)
(対売上高比率)	32.5%	31.2%	▲ 1.3 pt	
研究開発費	129.4	184.5	55.1	・網膜・角膜関連等(+55億円)
(対売上高比率)	12.5%	18.2%	5.7 pt	
営業利益	203.7	154.9	▲ 48.8	
(対売上高比率)	19.7%	15.2%	▲ 4.5 pt	
営業外収支	3.3	4.5	1.2	
営業外収益	13.5	14.3	0.8	
営業外支出	10.2	9.8	▲ 0.4	
経常利益	207.0	159.3	▲ 47.7	
特別損益	▲ 2.2	▲ 1.1	1.1	
特別利益	2.3	0.1	▲ 2.2	
特別損失	4.5	1.2	▲ 3.3	
税引前当期純利益	204.8	158.2	▲ 46.6	
法人税等	78.3	57.0	▲ 21.3	税率〔2008年度〕36.0%
当期純利益	126.5	101.2	▲ 25.3	
ROE	9.9%	8.0%	▲ 1.9 pt	

2007年度実績

US\$ 114.29円

Euro 161.98円

2008年度実績

US\$ 100.81円

Euro 146.71円



2009年度 連結業績予想

2009年度 連結予想概況

(単位：億円)

	2008年度 実績	2009年度 予想	対前年 同期 増減率
売上高	1,016.1	1,110.0	9.2%
営業利益	154.9	255.0	64.6%
経常利益	159.3	255.0	60.0%
当期純利益	101.2	160.0	58.1%
ROE	8.0%	12.3%	4.3pt

タプラスによる成長

経費は適正に抑制

研究開発費は150億円超を確保

2009年度 連結業績予想

(単位：億円)

<為替レート>

2008年度実績

US\$ 100.81円

Euro 146.71円

2009年度予想

US\$ 100.00円

Euro 130.00円

	2008年度 実績	2009年度	
		予想	増減
売上高	1,016.1	1,110.0	93.9
売上原価	359.4	370.0	10.6
(対売上高比率)	35.4 %	33.3 %	▲2.1 pt
販売費・一般管理費	501.7	485.0	▲16.7
(対売上高比率)	49.4 %	43.7 %	▲5.7 pt
研究開発費を除く販管費	317.2	332.0	14.8
(対売上高比率)	31.2 %	29.9 %	▲1.3 pt
研究開発費	184.5	153.0	▲31.5
(対売上高比率)	18.2 %	13.8 %	▲4.4 pt
営業利益	154.9	255.0	100.1
(対売上高比率)	15.2 %	23.0 %	7.8 pt
営業外収支	4.5	0.0	▲4.5
経常利益	159.3	255.0	95.7
特別損益	▲1.1	0.0	1.1
税引前当期純利益	158.2	255.0	96.8
法人税等	57.0	95.0	38.0
当期純利益	101.2	160.0	58.8
ROE	8.0%	12.3%	4.3 pt



2009年度

売上高の増減要因 (対前年同期比較)

**2008年度
実績売上高
1,016.1億円**

+93.9億円

**2009年度
予想売上高
1,110.0億円**

国内 + 40.3億円

[増収要因]

- ✦ 医療用眼科薬 +26.9億円
- ✦ 抗リウマチ + 2.3億円
- ✦ 一般用医薬品 + 3.5億円
- ✦ 医療機器 + 7.2億円

海外 + 53.5億円

[増収要因]

- ✦ 欧州 + 1.9億円
(うち為替 ▲10.9億円)
- ✦ 北米 +31.6億円
(うち為替 ▲ 1.2億円)
- ✦ アジア +20.0億円
(うち中国 +18.2億円)
(うち為替 ▲ 0.7億円)
- (うち韓国 + 0.9億円)
(うち為替 ▲ 1.1億円)

国内医療用眼科薬

- ✦ 抗菌 ▲ 4.6億円
- ✦ 角膜 + 6.5億円
- ✦ 緑内障 +26.7億円
うちタロメ + 37.5億円
- ✦ アルギン ▲ 5.3億円
- ✦ 粘弾性物質 + 2.0億円

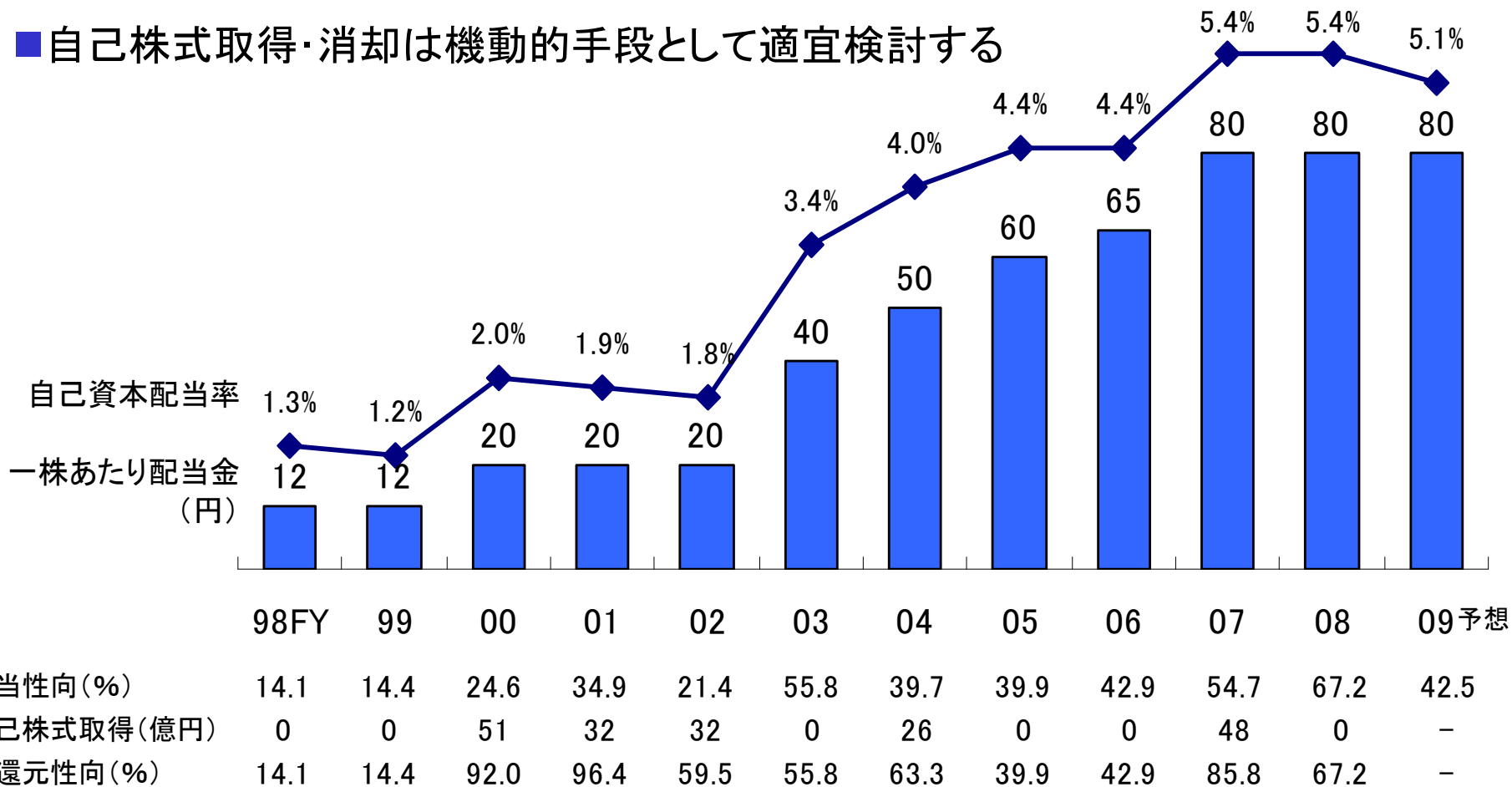
欧州

- ✦ 医療用眼科薬 + 2.9億円
(うち東欧 + 3.1億円)
(うちロシア + 1.0億円)
(うちドイツ + 0.6億円)
(うち西欧 ▲ 0.5億円)
(うち北欧 ▲ 0.8億円)
- ✦ 受託製造 他 ▲ 1.0億円

<為替レート>	2008年度実績	2009年度予想
US\$	100.81円	100.00円
Euro	146.71円	130.00円

S 株主還元策

- 研究開発、設備投資、アライアンス等、将来の資金需要、財務状況等を考慮して、配当水準の維持、向上に努める
- 2010年度の目標としていた株主資本配当率(DOE)5%を2007年度・2008年度に実現、2009年度も維持する
- 自己株式取得・消却は機動的な手段として適宜検討する



配当性向 (%)	14.1	14.4	24.6	34.9	21.4	55.8	39.7	39.9	42.9	54.7	67.2	42.5
自己株式取得 (億円)	0	0	51	32	32	0	26	0	0	48	0	-
総還元性向 (%)	14.1	14.4	92.0	96.4	59.5	55.8	63.3	39.9	42.9	85.8	67.2	-



參考資料



參考資料
2008年度連結業績概要



販売部門別売上高および海外売上高

■ 販売部門別 売上高

(単位：億円)

	2008年度 累計実績					
	国内		海外		合計	
	売上高	増減率	売上高	増減率	売上高	増減率
医療用医薬品	822.7	0.2 %	122.6	▲7.3 %	945.3	▲0.8 %
眼科薬	723.5	0.1 %	121.3	▲7.4 %	844.8	▲1.1 %
抗リウマチ薬	96.3	1.2 %	1.0	▲0.3 %	97.4	1.2 %
その他医薬品	2.7	11.7 %	0.3	49.0 %	3.0	14.5 %
一般用医薬品	52.1	▲3.9 %	0.0	▲67.8 %	52.2	▲4.1 %
医療機器	6.2	55.2 %	—	—	6.2	50.1 %
その他	5.0	▲21.3 %	7.2	▲53.6 %	12.3	▲44.1 %
合計	886.2	0.1 %	129.9	▲12.3 %	1,016.1	▲1.7 %

■ 海外売上高

(単位：億円)

	2007年度 累計実績	2008年度 累計		
		実績	増減額	増減率
欧州	85.3	83.1	▲2.2	▲2.6 %
北米	19.5	9.3	▲10.2	▲51.9 %
アジア	43.2	37.4	▲5.8	▲13.4 %
その他	0.1	0.0	▲0.1	▲86.5 %
合計	148.2	129.9	▲18.3	▲12.3 %

所在地別セグメント情報

■ 売上高

(単位：億円)

	2007年度 実績	2008年度	
		実績	増減額
日本	920.9	914.0	▲6.9
欧州	106.1	94.5	▲11.6
その他 ※	6.7	7.6	0.9
合計	1,033.9	1,016.1	▲17.8

■ 営業利益

	2007年度 実績	2008年度	
		実績	増減額
日本	226.3	182.8	▲43.5
欧州	5.5	1.7	▲3.8
その他 ※	▲8.1	▲6.6	1.5
消去又は全社	▲19.9	▲23.0	▲3.1
合計	203.7	154.9	▲48.8

※その他地域はアメリカ、中国、台湾、韓国です

(注) 海外売上高(仕向地別売上高)と区分は異なります



貸借対照表

(単位：億円)

	2008年3月末		2009年3月末		
	実績	構成比	実績	構成比	増減額
流動資産	1,027.5	65.6 %	1,010.5	66.9 %	▲17.0
固定資産	535.4	34.2 %	499.5	33.1 %	▲35.9
繰延資産	2.4	0.2 %	-	-	▲2.4
資産合計	1,565.4	100.0 %	1,510.1	100.0 %	▲55.3
流動負債	265.6	17.0 %	224.3	14.9 %	▲41.3
固定負債	28.6	1.8 %	32.0	2.1 %	3.4
負債合計	294.2	18.8 %	256.4	17.0 %	▲37.8
純資産合計	1,271.1	81.2 %	1,253.6	83.0 %	▲17.5
負債純資産合計	1,565.4	100.0 %	1,510.1	100.0 %	▲55.3

【主要変動科目】

- 流動資産：現金・預金 +16億円、有価証券▲44億円、たな卸資産+9億円
- 固定資産：建設仮勘定▲17億円、投資有価証券▲51億円 繰延税金資産+45億円、投資その他▲11億円
- 流動負債：短期借入金+5億円、一年以内返済予定の長期借入金 ▲50億円、
- 純資産：利益剰余金 +33億円、
 其他有価証券評価差額金 ▲25億円、為替換算調整勘定▲27億円

キャッシュフロー計算書 要約

(単位：億円)

	2008年度 実績
現金等期首残高	516.6
現金等 増減額	▲57.1
営業活動によるキャッシュ・フロー	118.4
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲56.1
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲113.7
現金等に係る換算差額	▲5.6
現金等期末残高	459.5

(注) 上記「現金等」には現金同等物を含んでいるため、貸借対照表の現金・預金とは一致しません



設備投資額/減価償却費/リース料

(単位：億円)

	2007年度 実績	2008年度	
		実績	増減額
設備投資額	27.5	27.4	▲0.1
減価償却費	33.5	33.9	+0.4
リース料	10.4	9.3	▲1.1

■設備投資 2008年度実績 主要項目

- 中国での工場建設投資 4億円
- 奈良R&Dセンター第3期工事 13億円



参考資料
2009年度通期連結業績予想



販売部門別 売上高/海外売上高予想

■ 販売部門別 売上高

(単位：億円)

	2009年度					
	国内		海外		合計	
	売上高	増減率	売上高	増減率	売上高	増減率
医療用医薬品	851.8	3.5%	143.4	16.9%	995.2	5.3%
眼科薬	750.4	3.7%	142.2	17.3%	892.7	5.7%
抗リウマチ薬	98.6	2.4%	1.0	▲5.9%	99.6	2.3%
その他医薬品	2.7	0.1%	0.1	▲58.3%	2.9	▲5.6%
一般用医薬品	55.6	6.7%	0.2	259.5%	55.9	7.0%
医療機器	13.4	115.5%	—	—	13.4	115.5%
その他	5.5	9.9%	39.8	450.1%	45.4	268.4%
合計	926.5	4.6%	183.4	41.1%	1,110.0	9.2%

■ 海外売上高

(単位：億円)

	2008年度 実績	2009年度		
		予想	増減額	増減率
欧州	83.1	85.0	1.9	2.3%
北米	9.3	40.9	31.6	336.3%
アジア	37.4	57.4	20.0	53.2%
その他	0.0	0.1	0.1	356.6%
合計	129.9	183.4	53.5	41.1%

所在地別セグメント情報

■ 売上高

(単位：億円)

	2008年度 実績	2009年度	
		予想	増減額
日本	914.0	978.0	64.0
欧州	94.5	94.7	0.2
その他 ※	7.6	37.2	29.6
合計	1,016.1	1,110.0	93.9

■ 営業利益

(単位：億円)

	2008年度 実績	2009年度	
		予想	増減額
日本	182.8	274.5	91.7
欧州	1.7	6.6	4.9
その他 ※	▲6.6	0.3	6.9
消去又は全社	▲23.0	▲26.5	▲3.5
合計	154.9	255.0	100.1

※ その他地域はアメリカ、中国、台湾、韓国です

(注) 海外売上高(仕向地別売上高)と区分は異なります



設備投資額/減価償却費/リース料

(単位：億円)

	2008年度 実績	2009年度	
		予想	増減額
設備投資額	27.4	18.3	▲9.1
減価償却費	33.9	34.1	0.2
リース料	9.3	5.2	▲4.1

■設備投資 2009年度 主要項目

- 製造設備の増設・更新
- 研究開発用機器の更新



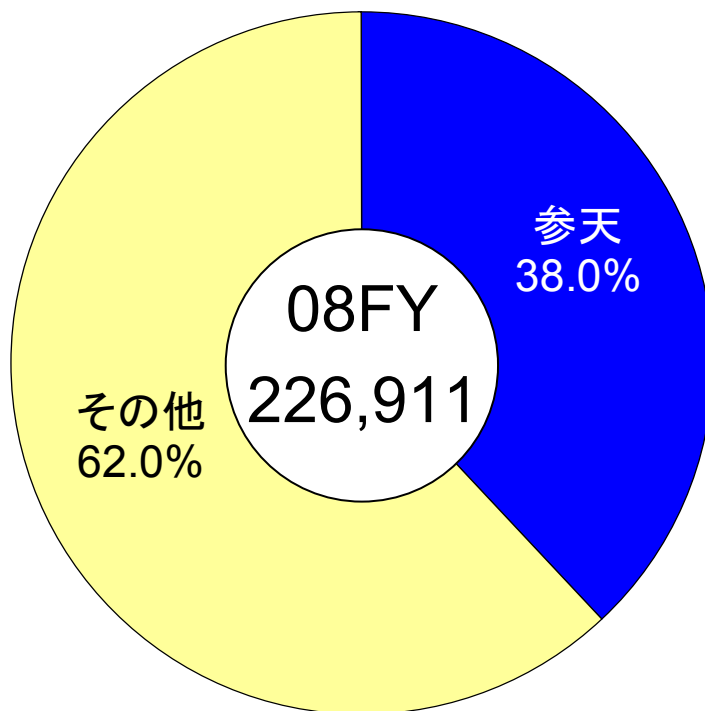
参考資料
国内医療用医薬品市場概況
(眼科薬・抗リウマチ薬)



国内医療用眼科薬：会社別売上構成(合計)

- ・参天は売上第1位で、2番手メーカーに対しても2倍以上の規模を保持。
- ・会社シェアは08FYで38%。

市場規模: 百万円
%は金額シェア



出典: ©2009 IMS Japan
IMS-JPM 2005-09を
基に参天分析
無断転載禁止

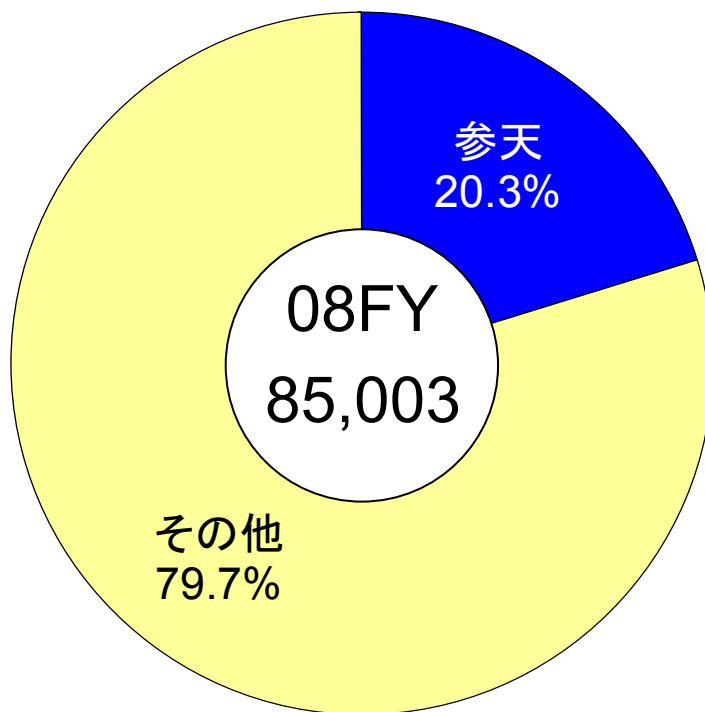
		05FY	06FY	07FY	08FY
参天金額シェア		40.9%	39.7%	38.9%	38.0%
対前年比	参天金額	+6.1%	-2.2%	+0.8%	+0.3%
	市場 金額	+2.6%	+0.6%	+3.1%	+2.6%
	市場 数量	-1.0%	+2.1%	+0.2%	+2.5%



国内医療用眼科薬：主要品売上構成(抗緑内障剤)

- ・市場規模は850億円。眼科薬最大領域であり、08FYの成長率は薬価改定を受けても対前年+2.2%。
- ・参天は現在はNo.2。シェアは近年低落傾向にあったが、08年12月のタプロス発売後は上昇に転じている。08FY4Q(1-3月)の参天シェアは20.9%。

市場規模: 百万円
%は金額シェア



*参天:
チモプトール、
チモプトールXE、
レスキュラ、
デタントール など

出典: ©2009 IMS Japan
IMS-JPM 2005-09を
基に参天分析
無断転載禁止

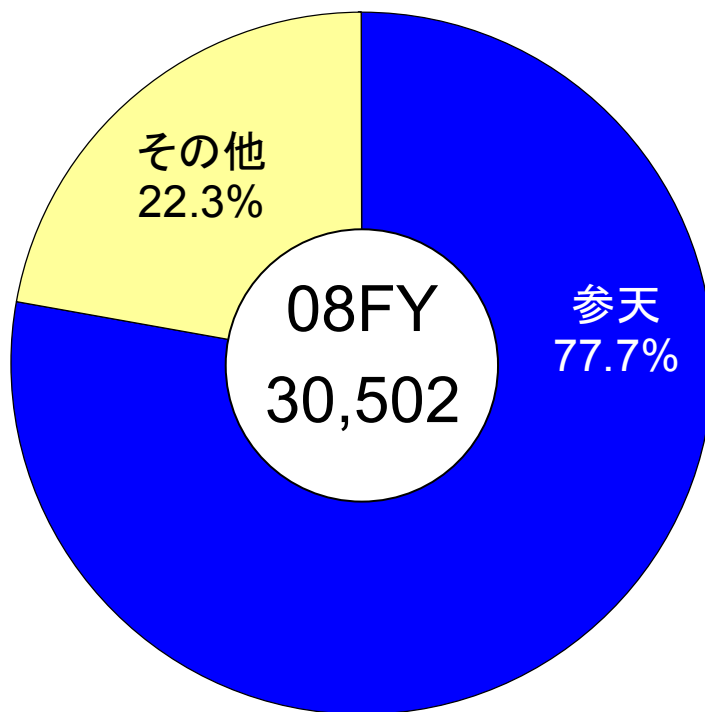
		05FY	06FY	07FY	08FY
参天金額シェア		23.2%	22.1%	20.8%	20.3%
対前年比	参天金額	+22.0%	-3.6%	-2.1%	-0.4%
	市場 金額	+5.5%	+1.1%	+4.0%	+2.2%
	市場 数量	+2.2%	+4.4%	+1.2%	+2.9%



国内医療用眼科薬：主要品売上構成 (角膜疾患治療剤)

- ・成長度が大きい市場。08FYは市場規模が300億円を超え、対前年伸長率は金額で+5.7%。
- ・参天にとって最も競争力が高い領域で、金額シェア約8割。08FYは薬価改定も、金額で前年比4%強成長。

市場規模: 百万円
%は金額シェア



*角膜疾患:
ドライアイを中心とする
角結膜上皮障害

*参天:
ヒアレイン など

出典: ©2009 IMS Japan
IMS-JPM 2005-09を
基に参天分析
無断転載禁止

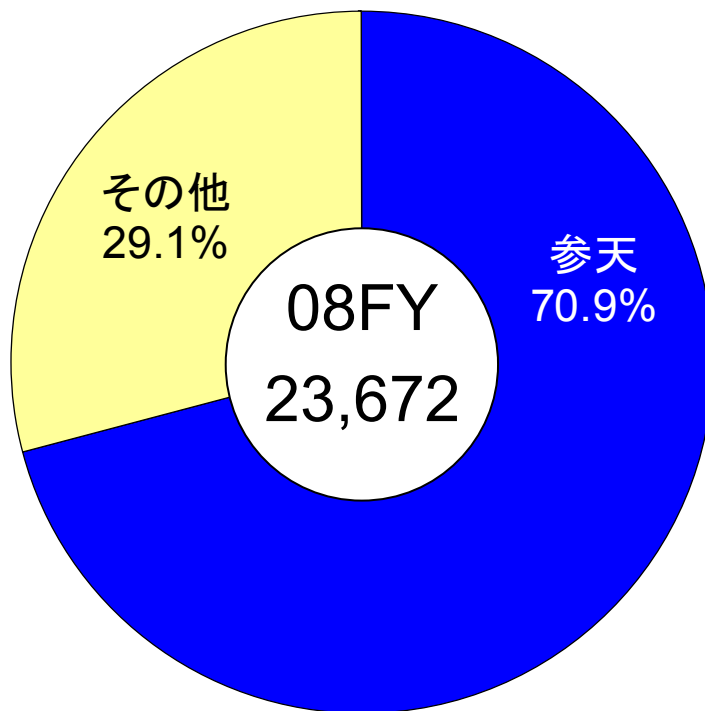
		05FY	06FY	07FY	08FY
参天金額シェア		80.7%	79.3%	78.7%	77.7%
対前年比	参天金額	+10.3%	+1.9%	+8.1%	+4.4%
	市場 金額	+10.7%	+3.6%	+9.0%	+5.7%
	市場 数量	+8.4%	+6.8%	+7.2%	+7.9%



国内医療用眼科薬：主要品売上構成(抗菌点眼剤)

- ・市場規模は240億円弱。08FYの対前年伸長率は-3.1%と微減傾向。
- ・参天にとっては角膜領域に次いで競争力が高く、7割強のシェアを保持。

市場規模: 百万円
%は金額シェア



*参天:
クラビット、
タリビッドなど

出典: ©2009 IMS Japan
IMS-JPM 2005-09を
基に参天分析
無断転載禁止

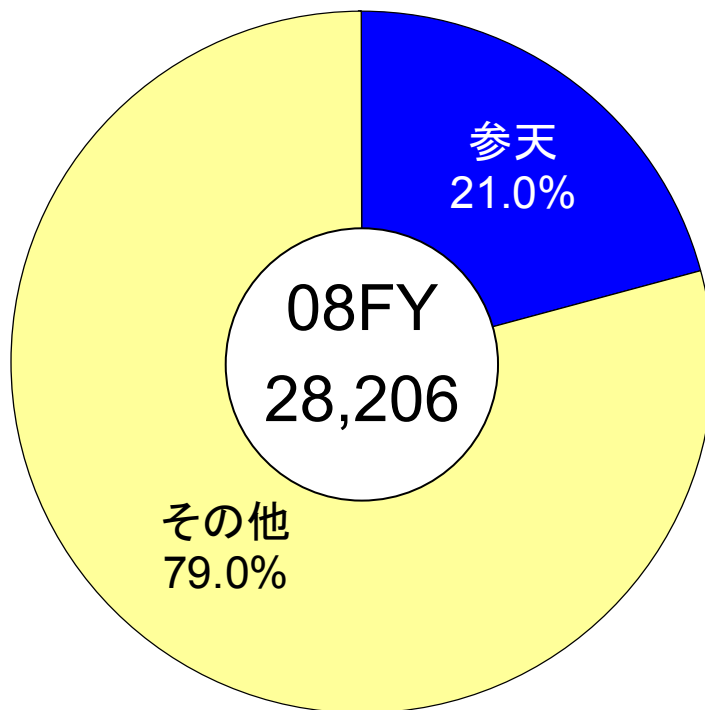
		05FY	06FY	07FY	08FY
参天金額シェア		77.4%	75.1%	72.4%	70.9%
対前年比	参天金額	-2.5%	-6.0%	-4.9%	-5.0%
	市場 金額	+0.5%	-3.1%	-1.3%	-3.1%
	市場 数量	-1.2%	+0.9%	-3.3%	-1.0%



国内医療用眼科薬：主要品売上構成 (抗アレルギー剤)

- ・市場規模は年ごとの変動が大きい。08FYは期末に大飛散があり、対前年+11.0%の約280億円。
- ・競合製品の成長が著しく、参天の金額シェアは減少傾向。08FYの金額シェアは21.0%。

市場規模: 百万円
%は金額シェア



*参天:
リボスチン、
アレギサール

出典: ©2009 IMS Japan
IMS-JPM 2005-09を
基に参天分析
無断転載禁止

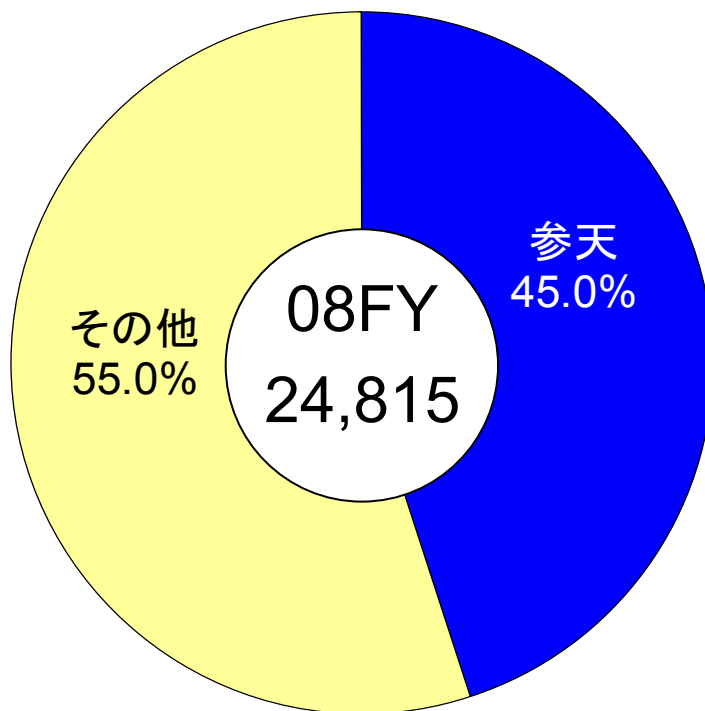
		05FY	06FY	07FY	08FY
参天金額シェア		24.8%	24.3%	22.7%	21.0%
対前年比	参天金額	-3.9%	-1.7%	-4.0%	+2.3%
	市場 金額	-13.2%	+0.3%	+2.6%	+11.0%
	市場 数量	-12.9%	+6.5%	+1.0%	+14.9%



国内医療用抗リウマチ薬：主要品売上構成(DMARDs*)

- ・市場規模は248億円。薬価改定の影響を受けたものの、08FYの対前年伸長率は+2.8%と堅調。
- ・参天は治療ガイドライン「推奨度A」の3剤を擁し、45%の市場シェアでDMARDsカテゴリー内No.1を保持。

市場規模: 百万円
%は金額シェア



*DMARDs:
「疾患修飾性抗リウマチ薬」免疫機能を是正する

*参天:
リマチル、アザルフィジンEN、メトレート

出典: ©2009 IMS Japan
IMS-JPM 2005-09を
基に参天分析
無断転載禁止

		05FY	06FY	07FY	08FY	
参天金額シェア		45.2%	46.3%	46.1%	45.0%	
対前年比	参天金額	+7.6%	0.0%	+3.3%	+0.4%	
	市場	金額	+2.0%	-2.3%	+3.7%	+2.8%
	数量	+0.8%	+3.7%	+0.4%	+3.8%	



参天製薬株式会社

2008年度 決算説明会

新製品開発の現状

2009年5月13日

常務執行役員 研究開発本部長

西畑 利明



主要臨床プロジェクト状況一覧 (赤字部分: 3Q発表時からの変更点)

グローバル戦略品

グローバル品

日本 (アジア) 品

疾患領域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認
緑内障		DE-104 ROCK阻害薬		中国	DE-085 タフルプロスト 韓国 日本 欧州 (上市)
		DE-090 塩酸ロメリジン			
角膜疾患		DE-101 リボグリタゾン		DE-089 ジクアホソル ナトリウム	
	DE-105 ペプチド組合せ剤				
網膜疾患		DE-109 シロリムス			
		DE-102 ステロイドDDS			
その他 眼感染症 アレルギー リウマチ			DE-108 レボフロキサシン		
		DE-098 抗APO-1 抗体			

主要臨床プロジェクトの現状

■DE-085、日本：タプロス、欧州：TAFLOTAN（緑内障・高眼圧症）

地域	開発段階		備考
	今回	前回(2/5発表時)	
日本	上市 (2008年12月～)	上市 (2008年12月～)	製造販売承認 (2008年10月)
欧州	上市* (2008年6月～)	上市 (2008年6月～)	承認時期 (2008年4月～)
アジア	韓国：販売申請中 中国：P3実施中	韓国：販売申請中 中国：P3実施中	韓国：申請時期 (2007年11月)

*:ドイツ、デンマーク、フィンランド、スウェーデン、ノルウェーにて上市(下線国:前回より追加)。

承認取得済 12カ国(上市国含む)。

審査終了、承認手続中 8カ国。

米国	Merck社に開発販売権をライセンスアウト
----	-----------------------

主要臨床プロジェクトの現状

■DE-089 (ドライアイに伴う角結膜上皮障害)

地域	開発段階		備考
	今回	前回(2/5発表時)	
日本	製造販売承認 申請中	製造販売承認 申請中	一般名: ジクアホソルナトリウム 申請時期: 2008年5月



主要臨床プロジェクトの現状 －緑内障・高眼圧症－

■DE-090

地域	開発段階		備考
	今回	前回(2/5発表時)	
日本	P2	P2	一般名:塩酸ロメリジン

■DE-104

地域	開発段階		備考
	今回	前回(2/5発表時)	
米国	P1/P2	P2	ROCK阻害剤
日本	P2	P2	

■P2試験結果（米国1試験、日本2試験）

- 1) 有効性: 点眼直後は強い眼圧下降効果あり、その効果は濃度依存的に増強。
次の点眼直前(トラフ)の眼圧下降効果はプロスタグランジン製剤に劣る。
- 2) 安全性: 重篤な副作用は認めていない。

■追加P1/P2試験概要（米国1試験）

- 1) 目的: 用量増加で、より強い眼圧下降効果を目指す。
- 2) 方法: 高濃度製剤(2濃度)とプラセボおよび0.005%ラタノプロスト点眼液を用いて
安全性、有効性を盲検下で比較する。
- 3) 期間: 2009年3月～10月

■次相（P2b）移行時期

順調に行けば、2010年2月頃を予定。



主要臨床プロジェクトの現状 – 角膜疾患(ドライアイを含む) –

■DE-101 角結膜上皮障害(ドライアイを含む)

地域	開発段階		備考
	今回	前回(2/5発表時)	
米国	P2	P2	一般名:リボグリタゾン
日本	P2	P2	

■DE-105 遷延性角膜上皮欠損

地域	開発段階		備考
	今回	前回(2/5発表時)	
日本/米国	P2準備中	P2準備中	ペプチド組合せ剤

■DE-102 糖尿病黄斑浮腫

地域	開発段階		備考
	今回	前回(2/5発表時)	
日本	P1/P2	P1/P2	ステロイドDDS

■DE-109* 滲出型加齢黄斑変性、糖尿病黄斑浮腫

地域	開発段階		備考
	今回	前回(2/5発表時)	
日本	P1/P2	P1/P2準備中	一般名:シロリムス

* MacuSight社より導入。日本を含むアジアでの眼科領域の開発・販売権を保有。

■DE-108 外眼部感染症

地域	開発段階		備考
	今回	前回(2/5発表時)	
日本	P3	P3	高濃度レボフロキサシン

■DE-098* 関節リウマチ

地域	開発段階		備考
	今回	前回(11/7発表時)	
日本	P1/P2	P1/P2	抗APO-1抗体
欧州	P1/P2	P1/P2	

* Argenes社に導出。国内販売権、海外開発販売権は当社が保有。



将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward looking statements)を含みます。これら見通しを実現できるかどうかは様々なリスクや不確実性などに左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。
- 日本ならびにその他各国政府による医療保険制度や薬価等の医療行政に関する規制が変更された場合や、金利、為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。
- 新薬の研究開発から承認・発売まで非常に長期間を要し、開発中止、承認申請後の不許可など不確実性を多く含みます。新製品に関わる見通しは、他社との開発・販売提携等を前提とするものが含まれており、こうした提携の成否は当社の業績や財務状況に影響を与える可能性があります。
- 現在発売している主要製品や将来発売が予定されている大型新薬が、万が一特許失効、製品の欠陥、予期せぬ副作用などの要因により、販売中止となったり、売上が大幅に減少した場合、業績や財政状態に大きな影響を及ぼします。また、当社が販売している製品の多くは、他社から製造販売権、ならびに販売権を供与されていますが、契約期間満了後、契約条件の変更や、販売提携の解消などが起こった場合、業績に影響を及ぼします。
- 原材料の中には供給を特定の取引先に依存しているものがありますが、何らかの要因によりこうした原材料の供給が停止した場合や、これに起因して当社の製品の供給が滞った場合、業績に悪影響を及ぼす可能性があります。